

年頭あいさつ



町長 佐藤 晴彦

迎春

新年あけましておめでとうございます。

皆さまには、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

日ごろより町行政運営に對しまして、深いご理解と温かいご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、平成25年度から5年間の町政運営の指針となる第一次横芝光町総合計画後期基本計画を策定し、「調和と創造 自立するまち」

を基本理念として、各種施策を展開してまいりました。災害に強いまちづくりを推進するため、策定を進めております地域防災計画については、多くの皆さまからご意見をいただき、3月

末までに完成する予定であります。これにあわせ、津波対策として、津波一時避難施設である上塚小学校、白浜小学校及び光楽園老人ホームに屋外から屋上へ直接避難できる外階段の設置

と、東日本大震災の際に浸水被害が発生した屋形海岸地域に、津波避難タワーの建設事業を進めているところ

です。そして、栗山川河口付近の堤防と海岸の砂丘堤の嵩上げ工事も実施されています。

「栗山川架橋事業」については、合併以来の念願でありました町の東西を結ぶ橋の一つである「栗嶋橋」が昨年5月に供用を開始いたしました。そして、長塚・北

清水地先の架橋事業も、お

おむね順調に進捗しており、橋の名称も公募により、町の成長と発展の願いを込めた「清長大橋」に決定いたしました。

横芝駅前の朝夕の混雑解消を図るため実施している「駅前広場整備事業」については、東側の駐車場部分の造成が完了し、「横芝駅前交差点改良事業」とあわせて事業を進めています。

また、昨年4月には、首都圏中央連絡自動車道の東金く木更津間が供用を開始し、これにより当町から中房総方面への移動時間の短縮や東京湾アクアラインへのアクセスが向上いたしました。

さらに、早期着工・早期完成を要請してまいりました大栄く横芝間の整備事業が進められ、当町区間の4

キロメートルにつきましては、境界確認、測量作業等が実施されているところがあります。

そして、銚子連絡道路2期事業の当町区間の1.6キロメートルについても、事業が進められております。今後、こうした交通網の整備が進むことが期待できる

ことから、多くの方に横芝光町に立ち寄っていただけるよう、物産や観光など当町の魅力を、昨年誕生した町マスコットキャラクター「よこぴー」と共に、発信してまいりたいと考えております。

一方、少子高齢化が急速に進行し、昨年4月には、65歳以上の高齢化率が、30パーセントに達しました。このような状況から、少子化対策として、子育て世代の支援として実施している「児童医療費助成事業」について、昨年4月から高校1年生までその対象を拡大いたしました。

地域医療対策としては、町立病院である東陽病院において、昨年10月に新病院

長を迎え、また、前病院長にも名誉院長に就任していただくなど、新たな体制で、安全で良質な医療と、健全な病院経営を推進するため取り組んでいるところであり

ます。このほか、介護対策など福祉事業の充実に、より一層努めてまいりたいと考えております。

景気は回復傾向にあるものの、地方を取り巻く状況は、依然として非常に厳しいものがございますが、次世代のために、行財政改革を推進し、健全財政の堅持に努め、将来に亘って、安心して住み続けていただ

けるまちづくりをめざして、精いっぱい努力してまいりますので、皆さまにはより一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして、幸多い年となり

ますようご祈念申し上げます。年頭のあいさつといたしま

